



広報

ちな

知名町
町制
施行 70



10 No.555
月号

2016(平成28年)
鹿児島県知名町
(沖永良部島)

11月1日は 焼酎の日!





おまかせだ



だ

にあらためて目を向けてもらおうと、県内自治体有志で組んだ合同特集です。

皆さんは「ダレヤメ」という言葉を知っていますか。鹿児島弁で「ダレ(疲れ)」を「ヤメ(取る)」。仕事の後、本格焼酎(以下、焼酎)を飲んで一日の疲れとストレスを癒やし、明日への活力を養う、鹿児島島の晩酌のことです。なぜ鹿児島にダレヤメ文化が根付いたのでしょうか。鹿児島大学の焼酎の専門家・鮫島吉廣さん(68)に、その背景を尋ねました。

風土が生んだ「鹿児島」のお酒

「鹿児島は焼酎発祥の地。16世紀の大工の落書きに庶民のお酒として広まっていた記録が残っています。18世紀には当時高価な米の代わりに、安く育てやすいサツマイモが使われるようになりました。さらに清酒作りに向かない暑い土地柄が、焼酎造りに合う麹菌の導入や製造法の工夫につながります。また奄美地方では、黒糖の産地ならではのサトウキビを原料にした黒糖焼酎が造られるなど、鹿児島独自のお酒として進化を続けてきたのです。

鹿児島島の味付けは、しょうゆをはじめ甘くこったり。その味に合うのがすっきりとした『焼酎』。お湯割り、水割りなど自分の好みの濃さで、アルコール度数を変えて食中酒として楽しむ、世界的にも特に珍しい蒸留酒なのです。さらに鹿児島大学の最近の研

INTERVIEW

森 万由子さん(21)
鹿児島市在住

芋焼酎のお勧めの飲み方は「お湯割り」。香りが立ち、鹿児島の料理の味を引き立ててくれます。黒ぢょかや薩摩切子、そらきゅうなどの酒器にも鹿児島ならではの歴史や文化が隠れていて魅力的ですね。焼酎を飲む人はみんな笑顔。人同士を結ぶすてきなお酒です。



2015ミス薩摩焼酎

INTERVIEW

崎本 彩さん(21)
鹿児島市在住

「黒糖焼酎だから糖質が多い」とよく誤解されますが、本格焼酎は全て糖質ゼロ。ダイエットにも最適です。黒糖焼酎は奄美地方でしか造られない特別なお酒。すっきりした味わいで、どんな割り方も合います。私は紅茶割りでよく楽しんでますよ。



2015ミス奄美黒糖焼酎



黒糖焼酎の歴史

焼酎の伝来経路には諸説ありますが、その一つに、約500年前にタイから琉球を経て、奄美群島、薩摩へというルートがあります。黒糖焼酎の原料である、黒糖(サトウキビ)は今から400年ほど前に、奄美大島の直川智が中国から密かにサトウキビの苗3本を隠し持って帰ったことから始まったようです。

黒糖焼酎は江戸時代から奄美群島(諸島)でひそかに製造されていたようです。昭和28年に奄美群島の日本返還に伴い、日本の酒税法が適用されますが、当時の酒税法では黒糖を使ったものは焼酎と認められず、高い税率区分になりかねませんでした。そこで、島民の願いもあり、取り扱いに関して議論され、米こうじ併用を条件に、熊本国税局大島税務署の管轄区域(奄美群島の奄美大島・喜界島・徳之島・沖永良部島・与論島)に限って黒糖原料の焼酎製造を特別に認めました。このため、黒糖焼酎は奄美群島でのみ製造が許されている特別な焼酎となっています。



鹿児島初! 11月1日は「本格焼酎の日」

焼酎ストリート

Shochu Street 2016

11.1 TUE 2 WED 3 THU

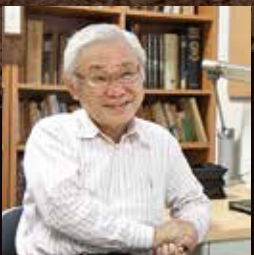
17:30~20:00 17:30~20:00 11:00~17:30

場所 天文館本通り/天神おつきやびらも〜る

県内113全ての蔵元の焼酎が1杯500円で楽しめます。抽選で本格焼酎のプレゼントも。「1万人でいっせいで乾杯」や奄美出身の人気デュオ・カサリンチュのライブ、前園真聖さんのトークショーなども行います。

焼酎は

県・市町村合同企画 本格焼酎の日11月1日を前に、鹿児島の焼酎の良さ



よしひろ 鯨島吉廣さん(68)

南さつま市出身。大手酒造メーカー勤務を経て、鹿児島大学教授、全国初の焼酎学講座を開講。同大焼酎・発酵学センター客員教授。同市在住。

究で、焼酎は「水やほかの酒よりも、食後の血糖値の上昇を抑える効果が高い」ことが分かりました。糖質やプリン体も含まず、まさに健康を考えて飲むなら焼酎が一番。

県内には113の蔵元があり、その数は日本一。各蔵元が作る豊富な銘柄と多様な味わいは、毎日飲むお酒として無限の楽しさを秘めています。

これらの素晴らしい要素が、私たちにダレヤメ文化を根付かせたのです」

焼酎を最高のおもてなしに

鹿児島県は焼酎文化で「おもてなし」を掲げる条例まで制定した、自他共に認める焼酎王国。体に優しい焼酎は、地域独自の歴史と文化がぎゅっと詰まった最高の一品です。県外の人にぜひ焼酎の良さを伝え、こだわりの飲み方や多様な銘柄を勧めてください。

皆さんのおもてなしが、鹿児島の魅力を高めてくれます。「ダレヤメ」が全国に広まる日を夢見て、今宵も鹿児島の焼酎で乾杯、しませんか。

- ※お酒は20歳になってから、適量で。
- ※飲酒運転は法律で禁止されています。
- ※妊娠中や授乳期の飲酒は控えましょう。



鹿児島の焼酎の
魅力が分かる動画は
こちらから

<https://www.youtube.com/watch?v=c7iKH8H5Puo>



- 「本格」焼酎とは、麴にイモや黒糖などの主原料を加えて発酵を進め、できたもろみを単式蒸留器でじっくり蒸留して造られる、砂糖やアルコールなどの添加物が一切無い焼酎。原料の風味が豊かで、味わい深いのが特徴。
- 鹿児島の焼酎は「薩摩焼酎」として世界貿易機関(WTO)のトリプス協定で、地理的表示の産地指定を受けています。
- 昭和62年、日本酒造組合中央会が、新酒がおいしい季節の11月1日を本格焼酎の日と制定。平成19年には、奄美大島酒造組合が「こ・く・とう」と読める5月9、10日を奄美黒糖焼酎の日と制定。



「孫が大人になったときにも光り輝く美しい島づくり」

沖永良部島では、厳しい地球環境制約の中でもワクワク・ドキドキ心豊かに暮らすため、過去6回のシンポジウムを通して、島の文化を創り上げて来た『5つのち・か・ら』を明らかにしました。これを未来のかたちにするためには何を考え、どのように展開するのか？ 9月3、4日に開催された「第7回シンポジウム」では、島内外の多くの方々と地元が光り輝くための具体的な答えを探しました。その中で行われたワークショップの内容など、一部を紹介します。

基調講演

本町にとっても先進事例となる取り組みについて、以下の3名の方が講演を行いました。



環境省大臣
官房会計課長
鳥居 敏男氏

「環境・生命文明社会の創造とつなげよう、支えよう
森里川海プロジェクト」



鈴廣かまぼこグループ
代表取締役副社長
鈴木 悌介氏

「なぜ、かまぼこ屋がエネルギーのことを考えたのか
〈地方創生はエネルギーの地産地消で〉」



株式会社アンカーリンク
ジャパン代表取締役
中村 圭一郎氏

「島の持続可能な観光を考えるこれからの地域らしさ、島らしさを実現するために」

パネルディスカッション



島の未来について、島内外のパネリスト達により、それぞれの立場からディスカッションが行われた。



高校生たちも新しいビジネスを提案。

分科会

島の文化を創り上げて来た5つのち・か・ら。沖永良部島の根底に流れる生活価値。これを現在の文化・文明の中にどう活かすことができるのか？ 5つの分科会で話し合いました。

食



食育、無農薬、おきのえらぶブランドがキーワード。島の食材を身近に感じてもらうために、島の素材を使った料理を日めくりカレンダーを作ったらどうだろう？

自然



自然との向き合い方を再デザインするとき。沖永良部が自然と人との共生の最先端モデルへ！

仕事



強制しない時間を意識的につくり、気持ちに余裕を持つことで、遊び心を育て、その中から新しいビジネスを生み出そう！

子ども未来



「夏休みのある一日」と題した劇を披露し、方言ラジオ体操や島の魅力を方言カルタで発表。

集い / 楽しみ・遊び・学び



島唄は方言の最後の砦。あしびの達人から楽しみながら学び、島の人たちを巻き込んでムーブメントを起こそう！

子どもや孫が大人になったときにも光り輝く美しい島であってほしい。共同体や自然を人をつなぎ直すような暮らし方を、もう一度この島でやらないといけない。
『自足するということ』は我慢することではなく、とてもオシャレな新しい豊かさの切り口になる。本当の島の魅力を探して発信することで、開かれた島づくりに繋がるのではないだろうか。
自足型の暮らしを目指すことで、ローカル（地方）が主役になる時代がやってくる！

第6回シンポジウムの成果をまとめ両町に提出された「18の提言」

<土台となっている自然> x <仕事> 3年後

- 島人が全員年に1本、自生の木を大山 / 越山に植林している。山の先生も復活し、小中学校の学林地もかつてのように緑が復活し、海の家草にも変化が現れ始めた。
- 赤土の流失を防ぐための、緑地保全ルール（赤土等流出防止対策協議会）が徹底運用され、作物収穫後の裸地にも緑肥が必ず植えられ、赤土の流失を防いでいる。
- 島大学（後述）で森の案内人を育て、大山 / 越山の散策路を使った自然勉強会・観察会が定期的で開催され、エコツーリズムも盛んになっている。
- 字毎に、自慢できる湧水場の整備が完了しており、湧水場には太陽熱温水器の設置が始まり、交流の場になっている。太陽光を主なエネルギー源とした自足型エネルギーシステム（電池）の『たまり Ba(r)』（後述）への導入検討が具体的に始まっている。また、集落の屋根を利用する太陽光発電所の具体的な導入計画が進んでいる。
- 地下水の水質調査結果が毎月公開され、地下水汚染に対する方向付けが決定している。
- 営業生ゴミの分別回収が始まり、有機肥料への利用方法が具体化している。
- 島月桃などの高ポリフェノール植物の薬草化が検討されている。



<コミュニティーを煽る食、楽しみ・遊び・学び、集い> x <仕事> 3年後

- 生産者を大事に！を掲げた、自給自足の島ネットワーク会社が設立、運用を開始している。農家や個人の過剰野菜や果物の集配がはじまり、余った食材は漬物やお菓子に加工する加工所の設置が始まっている。
- 小学校区毎の1集落で米作りがはじまり、全小学校での米作りの方向付けが完了している。
- 里芋、ニンニクなど、品種を絞り、無農薬栽培への挑戦が始まっている。アロマ用の無農薬花卉の栽培実験も始まっている。また、減農薬に関する議論が両町で開始している。
- 伝統的な島料理（お菓子を含む）や島食材に加え、ヤギのチーズやハーブ等を使った有名シェフモダン健康料理のレシピ本が出版されている。ヤギ牧場では動物との交流とモダンヤギチーズ作りを開始している。
- 年に一回の食の文化祭では、子供創作料理、我が家の自慢料理、プロの創作料理大会が開催され、島人と観光客で賑わっている。
- 廃校を利用し、技能者の認定を受けた島のお爺やお婆が島人に技を教える島大学が設立されている。そのため認定システムが制定され、一部の教育システムが動き始めている。単位取得者は准技能者認定の資格も得られる。農業高校の設置も議論が始まっている。また、廃校を事務局とした通信制大学（ex: 星槎大学分校）開講のための議論が始まり、芸術学科の設立も検討されている。
- 魚 / 農 / 芸を中心にした島暮らし体験（民泊、古民家ステイ）ビジネスがはじまっている。島に到着してから離れるまで、自給自足を基本として、自然に生かされていることを知り、生き方を考える2泊3日からの色々なコースの中で島外の個人やグループ、企業研修が行われている。ここでは、必要に応じて島の伝統芸能の体験や、自然を基盤とした最先端の環境教育や企業戦略などの講義や実習のカリキュラムも選択できる。
- 島大学で方言教授の指導を受けた講師が、子供たちに方言を教えている。子供たちは、お爺やお婆と方言で会話をするのが夢で、方言ミュージカルも開催する。アシミジ節の授業や講習が小中学校（特色ある教育）や字で行われ、いつでもどこでも歌い踊れるようになっている。その結果、祭りは活性化し、壮年もお爺やお婆も子供たちとのつながりが強くなっている。
- 両町商工会のポイントカードが共通となり、銀座通りでは『もの』から『心』売りへの挑戦が始まっている。通りには人の溜まり場があり、若い人たちは新しい商売を期間限定の空き店舗を利用して次々に展開しており、地域通貨に関する議論もはじまっている。
- 各字（あるいは校区）ごとに空き家や集会所を利用した「たまりBa(r)」が1、2個ある。そこでは、すべての他の「たまりBa(r)」情報（イベント / 冠婚葬祭 / 食材）が得られる。Barの運営費は、キビや野菜の販売、営業時間22時までのコインBar（大人たちは毎夜のように通って色々面白いアイデアをワイワイガヤガヤ考えている）の売り上げで賄っている。

『えらぶ』してる？ が、ご挨拶。



今年の金婚式には、対象の18組のうち以下の15組（敬称略）が出席し、町制施行70周年記念の年に結婚50年の節目を祝いました。

式典は、「花嫁花婿」の入場から始まり、手を取り合つて入場するご夫婦の微笑ましい姿に、会場は出席した約百名の関係者らの暖かい拍手に包まれました。

式では、平安正盛町長が「これからの生涯を日々の健康に充分にご留意されながら、ご夫婦お揃いで、55周年のエメラルド婚、60周年のダイヤモンド婚のお祝いができますことや、幾久しくめでたきお年を重ねられますよう、心からご祈念申し上げます。」と式辞を述べました。

引き続き祝宴では、出席者を代表して伊集院達之佑さんが、「健康な体に産んでくれた両親や長年お世話になった全ての方々に感謝申し上げます。本日の金婚式を契機に夫婦は今後も互いにいたわり助け合つて、元気で暮らすことが社会貢献につながることを思っています。」と謝辞を述べました。このほか祝宴では、祝舞や民生委員等による踊りが披露され、それぞれ夫婦は仲睦まじく演芸を楽しんでいました。



※都合による欠席

有川 慶彦・清子 (知名) 森 武勝・昭子 (瀬利覚) 上村 實敏・清子 (瀬利覚)

知名中学校吹奏楽部に楽器を整備しました。

ふるさとまちづくり基金（ふるさと納税）を活用し、知名中学校（今井力夫校長）吹奏楽部に楽器（写真の5楽器）を整備しました。

同部は、部員が13名という少ないなかにおいても、顧問の宇宿哲郎教諭の熱血指導のもと、まさに校訓どおり「精一杯」練習に励んでおり、昨年は県中学校音楽コンクールで金賞、今年には県吹奏楽コンクールで銀賞を受賞するなど、輝かしい結果を残しています。

今回の新しい楽器の整備にあたり、宇宿教諭は「寄附をしていただいた多くの方のお気持ちの感謝し、大切に使用させていただきます。」と述べました。



問 学校教育課 電話 (84) 3158

ペダルゴーカートがフローラルパークに!

知名町フローラルパーク（以下「パーク」）に、2歳から12歳までのお子さんが利用できるペダルゴーカートを整備しました。これはふるさとまちづくり基金（ふるさと納税）を活用したもので、パーク内のゴーカート場をご利用いただけます。

【留意事項】

- このゴーカートの利用にあたっては、それぞれ年齢制限があります。また、小さなお子さんが利用する際は、必ず保護者の方が付き添ってください。
- 台風時や強風時のほか、諸事情により利用できない場合があります。
- 遊具には限りがありますので、順番を守り楽しくご利用ください。



問 企画振興課 電話 (84) 3162

指定発達支援事業所「ぽてと」が開設

問 保健福祉課 電話 (84) 3153

旧住吉幼稚園に、リハビリ機能充実型児童デイ発達支援事業所「ぽてと」が開設されました。

就学前の発達のかたよりやその心配のあるお子様が通われる療育施設です。児童発達支援管理責任者をリハビリテーションセラピストが担当し、保育士や指導員とともに、各職種の専門性を生かし、充実した療育・リハビリサービスの提供を特徴としています。子供たちの心身の発達を最大限促し、日常的に必要な能力を身につけることを目標として療育を実施します。 管理責任者 内山 電話 (84) 3867



有料
広告

九電工って
どんな会社??

エアコン

オール電化

発電機

はい! 九電工は
こんな会社です!

1010
やっていますよ!

・屋内配線工事

・トイレ設備

・省エネ設計

・LED照明

・電化製品販売取付

・給排水設備工事

・オール電化

・空調・換気設備

・厨房機器

・コンセント工事 etc...

お見積無料!

お気軽にお問い合わせください!

Make Next.
九電工 TEL: 93-2100

平日 8:30~17:00

第4回桑の日フェスタ！開催

桑の日フェスタは、県内の桑生産者や加工業者らで組織するかごしま桑振興会が、桑の魅力を広く知ってもらおうと毎年この時期に開催しており、今年で4回目を迎えました。イベントでは「桑のある風景」をテーマにした絵画コンクールの表彰式の後、鹿児島沖洲会が琉球舞踊を披露しました。会場では、知名町産のシマ桑粉末を使用した桑茶の試飲のほか、振興会会員の桑製品の販売やかじはらプリンとコラボした桑の葉や



果実を使った限定プリンの販売、絵画コンクールに出展された絵の展示などがありました。カイクとふれあうコーナーでは、本物のカイクを初めて見た子どもたちが手のひらにのせたり、繭をつまんだりしながら桑の葉を食べるカイクを興味深そうに観察していました。また、昨年から行われている龍桜高校モードビジネス科の学生による、シルクのクリームを使ったハンドエステや学生の手作り衣装ファッションショーなども開催され、多くの方の注目を集めていました。桑についてまだまだ知名度が低いですが、桑の葉には糖の吸収を抑制すると言われる桑特有の成分をはじめ

め、たんぱく質や食物繊維、カルシウムやカリウム等のミネラル、ビタミン類やポリフェノール等、さまざまな成分が含まれています。桑やシルクの持つ驚くべき効能が注目され、県内の生産農家も年々増加しています。今回参加した知名町シマ桑生産組合の方は、他の地域の生産者と情報交換をする良い機会となり、栽培だけでなく直接消費者と接することが重要だと感じていました。安心・安全で、体に良い桑を栽培する農家が増え、鹿児島の桑が盛り上がるように、これからも様々なイベントを通じてPRしていきたいと思っています。



所長 元栄 吉治

New books

話題の本、入荷しました!

『今日が人生最後の日だと思って生きなさい』

小澤 竹俊／著 アスコム

もし今日が人生最後の日だとしたら、あなたはもうどう生きていますか？ 仕事に全力を注ぎますか？ それとも愛する家族とともに過ごしますか？ 2800人を看取ったホスピス医が、人生にとって大切なことを教えます。



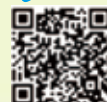
『あまみの甘みあまみの香り』

鯨本 あつこ／著 西日本出版社

離島経済新聞社の名物編集長と島酒担当記者が綴る、奄美群島5島と奄美の島酒をめぐるイラスト満載のほろ酔い旅エッセイ。奄美黒糖焼酎の作り方、歴史はもちろん、マメ知識、全蔵の情報も収録する。

問 町立図書館 電話(93)4356

<http://www3.town.china.lg.jp/index.html>





認知症サポーター養成講座が、9月2日、知名町商工会館で開催され、29名の方が認知症について学び理解を深めました。認知症サポーターは、認知症の方やその家族をあたたかく見守り応援する人で、安心して暮らせる町づくりのため、今後の活躍が期待されます。

広がる認知症サポーターの輪



幼年消防クラブへの鼓笛隊セット贈呈式が、9月9日、知名幼稚園内でありました。この鼓笛隊セットは、宝くじ助成事業（防災）を活用し、太鼓やタンバリン、けん盤ハーモニカ、木琴などを整備したもので、今後消防出初式などで使用される予定です。

消防クラブ鼓笛隊への贈り物



下平川小5年の児童と字老人クラブのメンバーが、9月16日、余多ふれあい公園で稲刈りを行いました。この稲は5月に植えられたもので、大きく実った稲を参加者は手際良く刈り取っていました。12月には、今回収穫した餅米を使って、字で餅つき大会が行われるそうです。

自然の恵みに感謝して



新90歳・100歳と100歳以上になられた方への表敬訪問が、9月17日にあり、平安正盛町長とJAあまみ知名事業本部島元嗣統括理事が、対象者に祝状と名入り湯のみなどを贈呈しました。今年の対象者は、新90歳29名、新100歳4名、100歳以上3名の計36名でした。

「ご長寿をお祝い申し上げます」



交通安全意識の高揚を図ることを目的とした秋の全国交通安全運動パレード及び街頭キャンペーンが、9月21日にありました。沖永良部警察署や各団体から約80名が参加し、役場前からのパレードのあと、交差点でチラシ配布などのキャンペーン活動を行い、ドライバーへ交通安全の協力を呼びかけました。

交通事故「0」を目指して



神戸市在住の書家、本田玉蘭（純子）さんによる「書道を楽しむ会」が、9月24日、中央公民館で開催され、町内の小学生32名が参加しました。子どもたちは、うちわや貝殻、色紙、和紙などに文字を書き作品に仕上げました。子どもたちは楽しみながらたくさんの文字を書いていました。

書道を楽しむ会

問 お問い合わせ先 **申** お申し込み先

子育て支援員研修の
受講者募集について

問 町民課
電話(84)3170

たくさんのご応募ありがとうございました。

採用されたのは、勝間愛花(芦清良)さんの作品で、この名称には「子どもたちが笑顔をみつけられる園」との意味が込められているそうです。

知名町幼保一元化運営検討委員会で推薦された37の応募作品の中から、認定子ども園名称検討委員会が厳正なる選考を行った結果、**知名認定こども園「すまいる」**に決定しました。

知名認定こども園
「すまいる」に決定



県では、子育て支援員を養成するため、地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、子育て支援分野の各事業等に従事することを希望される方に対し、必要な知識や技能等を習得するため創設された全国共通の子育て支援員研修を実施します。

● 受講コース

地域保育コース、地域子育て支援コース、放課後児童コース

● 実施期間

10月中旬〜2月中旬(各コースによって異なります)

● 実施会場

鹿児島地区、奄美地区

● 申込期日

平成28年10月14日(金)

● 申込先

鹿児島県子育て支援員研修事務局(株式会社テクノ・サポート)
電話092226212880

問 保健福祉課

電話(84)3153

インフルエンザ予防
接種について

● 対象者

住民票が本町にある方で、
① 65歳以上の方
② 60歳以上65歳未満であつ

て、心臓・腎臓若しくは呼吸器の機能又は、人免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方
③ 1歳以上18歳以下の方(就業者は除く)
④ ①〜③に該当する生活保護世帯の方

● 助成期間

11月1日〜1月31日

● 料金及び助成方法

①・②の方
自己負担額1000円(町助成額2500円)
※医療機関に備えつけの予診票にて接種してください。
③の方
自己負担額1500円(町助成額1500円)

※保健センターに印鑑をお持ちになり、申請の際に予診票を受け取って接種してください。

④の方 全額助成

※保健福祉課で③と同様にお手続きください。

● 接種回数 1人1回

※島外で接種された方は、保健センターに領収書、予診票の写し、印鑑、通帳をお持ちのうえ手続きを行ってください。

問 保健センター

電話(93)2075

各種給付金 について

問 保健福祉課 電話(84)3153

平成28年度臨時福祉給付金

基準日(平成28年1月1日)に知名町に住民登録があり、平成28年度分町民税(均等割)が課税されていない方が対象です。ただし、
①町民税(均等割)が課税されている方に扶養されている場合
②生活保護制度の被保護者となっている場合などは対象外です。

対象者1人につき**3千円** ※支給は1回限りです。

障害・遺族年金受給者向け給付金

臨時福祉給付金の対象となる方のうち、次の①及び②の両方を満たす方は、「障害・遺族年金受給者向け給付金」を受給できます。
①平成28年5月分の障害基礎年金または遺族基礎年金等を受給された方
②65歳以上の低所得者を対象とした高齢者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)を受給していない方

対象者1人につき**3万円** ※支給は1回限りです。

申請期間は、**9月9日(金)から12月9日(金)まで** ※申請締め切り後の受け付けはできません。

●対象と見込まれる方につきましては、9月初旬に申請書を送付します。

●申請書に必要事項をご記入のうえ印鑑を押して、住民基本台帳カード、運転免許証や健康保険被保険者証など本人確認ができる書類及び金融機関(ゆうちょ銀行を含む)の通帳など振込口座が確認できる書類を添えて保健福祉課、又は郵送で申請してください。※障害・遺族年金受給者向け給付金は、**最新の年金額改定通知書と年金振込通知書も必要**。

10月以降順次、ご指定の口座に振り込みます。(原則として口座振込)

問 お問い合わせ先 **申** お申し込み先

- 規格等
 - ・ 設置サイズ
8150mm×4500mm×900mm
- 内容
 - ・ ステージ脚部 H900 / D900 25台
 - ・ ステージ天板 45枚
 - ・ エンドキャップ900L 10本、ステップ3段型1台
 - ・ 縦支柱6本、やぐらトラス5本、手すり用トラス5本



知名町では県地域振興推進事業を活用し、「折りたたみ式アルミ製ステージ」を購入しました。どなたでも島内で開催されるイベントにご利用いただけます。

**ふれあい交流移動
ステージの貸出します**

● 利用範囲

島内で開催されるイベント等で利用する場合に限ります。

● 貸出し料金

- ・ 無料のイベント等 5千円
 - ・ 有料のイベント等 2万円
- 詳しくは、お問い合わせください。

● 企画振興課

電話(84)3162

**10月1日は
「土地の日」です!**

■ 一定面積以上の土地取引をした場合は届出が必要です。

一定面積以上(別表参照)の土地について、売買等の取引をした場合には、国土利用計画法により、契約締結後2週間以内に、買主が土地の利用目的及び取引価格等を届け出なければなりません。県では、その利用目的が公表されている土地利用に関する計画に適合しているかどうかなどを審査し、場合によっては、利用目的の変更を勧告することがあります。届出をしなかったり、偽りの届け出をしたりすると罰則が科されることがあります。

(別表)

区域	面積
市街地区域	2,000 m ²
市街地区域以外の都市計画区域	5,000 m ²
都市計画区域以外の区域	10,000 m ²

● 届出義務者

権利取得者(売買の場合は買主)

● 届出の時期

契約締結後2週間以内

● 届出先

土地の所在する市町村

● 罰則

6ヶ月以下の懲役又は百万円以下の罰金

■ 一定規模以上の土地の開発行為には土地協賛が必要

県土の無秩序な開発を防止し、適正かつ合理的な土地利用を図り、良好な地域環境の確保すること等を目的に、一団1ヘクタール以上の面積(※都市計画法・森林法・採石法・砂利採取法で許可又は認可を必要とする開発行為は、一団1ヘクタール以上の面積)の開発行為については、事前に知事と協議することとされています。このような開

発を行うとする場合は、開発の目的、方法等を記載した知事あての土地利用協議書を提出してください。

詳しい手続き等については、お問い合わせください。

● 企画振興課

電話(84)3162

**奄美海上保安部からの
お知らせ**

10月1日(土)から10月31日(月)まで「漁船海難防止強調運動」を実施しています。

漁船(小型船舶)の事故を防止するため次の事項を守りましょう!!

- ・ 常時適切な見張りの徹底(海難原因第1位 見張り不十分等)
- ・ 船体機関の整備・点検の実施(海難原因第2位 整備不良等)
- ・ ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保(船種別では漁船海難による死亡・行方不明者数第1位)

詳しくは、奄美海上保安部ホームページをご覧ください。

● 奄美海上保安部
電話(53)5569

**おきえらぶ
フローラルホテル
臨時職員募集!**

- 職種: 調理
- 募集人員: 1名
- 必要書類: 履歴書

詳細については
お問い合わせください。



【お問い合わせ先】 おきえらぶフローラルホテル
電話0997-93-2111

有料
広告

農林水産物・食品の輸出相談窓口

農林水産省と日本貿易振興機構(ジェトロ)は、皆様にお気軽に相談いただける「農林水産物・食品輸出相談窓口」を国内各地に設置しています。是非、ご活用ください。

農林水産物 輸出相談 検索

農林水産省: TEL 03-6744-7155

【お問合せフォーム】 <https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/1241.html>

・ 輸出先国の各種規制・制度(放射性物質、検査等)
・ 輸出に関する各種支援事業



日本貿易振興機構(ジェトロ): TEL 03-3582-5646

・ 輸出先国の基礎情報、マーケット情報
・ 輸出手続きについて・見本市・商談会に関する情報

◆ この他、地方農政局、国内のジェトロ事務所に設置している窓口は次のURLよりご参照ください(右記QRコードからもアクセスできます)。
http://www.maff.go.jp/shokusan/export/e_soudan/attach/pdf/index-1.pdf

◆ 酒類の輸出についても、国税局・税務署および上記窓口において相談を受け付けておりますので、是非、お問い合わせください。





まちの人口

平成28年9月1日現在（前月比）

- ◎総人口・・・6,222人(-7)
- 男・・・3,121人(+1)
- 女・・・3,101人(-8)
- ◎世帯数・・・3,118世帯(-4)

慶弔だより

（敬称略）

結婚おめでとう

川畑 修身(和泊)・熊野 香菜子(新城)

お誕生おめでとう

出生児	誕生日	保護者
豊島 和保里 <small>かほり</small>	8.17	和幸・万里子(上平川)
安田 羽海 <small>うみ</small>	9.16	篤郎・八千代(知名)

謹んでご冥福をお祈りします

中 喜造	8.24	84歳(上平川)
牧野 チヨ	8.25	89歳(田皆)
宗吉 オト	8.29	92歳(竿津)
榮 敏言	9.1	95歳(屋子母)
宮西 清良	9.14	81歳(徳時)
田浦 澄江	9.22	73歳(徳時)

香典返し（社会福祉協議会へのご寄付、お礼申し上げます）

牧野 則夫(田皆)	宗吉 力(神奈川)
田畑 壮一(知名)	榮 シズ(屋子母)
田中 佐代子(瀬利覚)	宮西 サワ子(徳時)
奥間 富士夫(田皆)	吉富 隆成(黒貫)
森 富重(住吉)	

善意（「老人ホーム長寿園」へのご寄附、お礼申し上げます）

大蔵 満(知名)

善意 知名町ふるさとまちづくり基金(ふるさと納税)へのご寄附、お礼申し上げます。(敬称略)(寄附日順)

ご氏名	ご住所	ご寄附金額
武村 雅夫	奄美市	30,000円
村吉 鐵治	福岡県北九州市	10,000円
山口 貞善	大阪府大阪市	-

※ご了解いただいたものについて掲載しています。

編集後記

★10月といえば町民体育大会！ この広報が発行される頃に開催となりますが、今年はこのチームが優勝するのでしょうか？ 現在下平川チームが7連覇中で、今年優勝すると過去の連勝記録に並ぶそうです。しかし、そこに待ったをかけようと、我が知名チームの体育部長は「今年こそは絶対優勝！」と鼻息荒く練習に参加しています。私も競技と写真撮影に全力で挑みたいと思います！

神川 豪

町民カレンダー（10月11日～11月10日）

10/11 火	○健康相談・母子手帳交付（9:00～保健センター）
12 水	○派遣登記所 開設日（知名町役場）
13 木	
14 金	
15 土	
16 日	○当番医 本部医院（93-3131）
17 月	○健康相談（9:00～保健センター） ○第23回酔庵塾（19:00～和泊町防災センター）
18 火	○健康相談（9:00～保健センター） ○離乳食実習 対象：H27.12.18～H28.6.18 生（9:30～保健センター）
19 水	
20 木	
21 金	
22 土	
23 日	○当番医 福山医院（92-0033）
24 月	○健康相談・母子手帳交付（9:00～保健センター） ○「舞踊集団 菊の会」一般公演（あしびの郷・ちな）
25 火	○健康相談（9:00～保健センター）
26 水	
27 木	
28 金	○母親学級（14:00～保健センター）
29 土	
30 日	○当番医 町田医院（92-3737）
31 月	○健康相談（9:00～保健センター）
11/ 1 火	○健康相談（9:00～保健センター）
2 水	
3 木	○文化の日 ○当番医 大蔵医院（93-5033）
4 金	
5 土	○町制施行70周年式典前夜祭（18:00～あしびの郷・ちな）
6 日	○町制施行70周年式典（10:00～あしびの郷・ちな）
7 月	○健康相談・母子手帳交付（9:00～保健センター）
8 火	○健康相談（9:00～保健センター）
9 水	
10 木	○2歳・2歳6か月児歯科検診 対象：2歳児 H26.8.19～11.10生、2歳6か月児 H26.2.19～H26.5.11生（12:30～保健センター）

※当番医や行事は変更になることがありますので、事前にご確認ください。

「あいさつ先手運動」・・・先ず自分からあいさつをしましょう。

地域であいさつの輪をひろげよう、
心のふれあいは互いに笑顔であいさつ。

知名町コミュニティ
づくり推進協議会
(左は今年度の重点実践事項)